

# 西宮市立中央病院だより

Vol.143

〒663-8014 西宮市林田町8番24号 ☎0798-64-1515(代表)・☎0798-64-1540(地域医療連携室) FAX0798-67-4811・FAX0798-67-4896(地域医療連携室)  
ホームページ <http://www.hospital-nishinomiya.jp/>

## 基本理念

市民に期待され、親しまれ、信頼される病院であるよう、

- 一、患者さま中心の心温かな病院をめざします。
- 二、医学の進歩に対応し、質の高い総合的な診療をめざします。
- 三、地域医療機関との連携、保健、福祉との協力のもとに市民の健康を守ります。
- 四、開かれた病院として、市民・医療関係者の生涯教育の充実に努めます。

## HCU (High Care Unit) の開設



循環器内科 部長 野嶋 祐兵

平素より開業医の先生方や近隣病院の先生方には大変お世話になっております。当院も専門性の特色を強めるべく、高度医療を実践して参りたいと常日頃から考えておりましたが、このたび念願のHCU (High Care Unit) を設置し、本年4月1日から運用することが可能となり、同時に高度医療が実践できるようにメディカルスタッフの再配置を行いました。

HCUは4階西病棟にて4床設置することとなりました。彩光の窓を大きく取り、間取りの面積も一般病床よりも大きく取っておりますので、明るくゆったりとした心地よい空間を患者さまに提供できるのではないかと自負しております。新しく配属されるスタッフも新設されたHCUで働ける喜びと期待を胸に、更に質の高い医療サービスが提供できるように努めていく所存でございます。

本HCUの設置の目的は、主に循環・呼吸器急性疾患の対応ならびに周術期管理となります。循環器スタッフの充実に伴い、平日の日勤帯にはACS(急性冠症候群)の患者さまは勿論のこと、うっ血性心不全患者等循環器急性疾患の患者さまの受け入れも可能となりましたし、IABP(大動脈内バルーンポンピング)、PCPS(経皮的心肺補助)装置など体外循環装置も使用可能となっております。勿論、呼吸器(Nasal High FlowやNPPV、IPPV)の補助を要する呼吸不全にも十分に対応できます。また、外科手術分野を初めとするどの分野においてもLess Invasiveな手法が好まれ、早期離床が推奨されてはいますが、一方、高齢者で心血管・呼吸器系に疾患を併発しているハイリスク手術も増加していることも事実であります。このような患者さまの周

2016年5月 西宮市立中央病院 診療科・診療担当医一覧表

※ 外来診療受付時間 月曜～金曜 午前 8:30～11:00 (初診・再診) 午後 1:00～3:00 (予約・専門外来)

☎ 663-8014 西宮市林田町8番24号 ○ 各科責任者 0798-64-1515(代表) ( ) 内線番号

Table with columns for medical departments (内科, 外科, etc.) and days of the week (月, 火, 水, 木, 金). It lists the names of the attending physicians for each department and day.

Table with columns for medical departments (内科, 外科, etc.) and days of the week (月, 火, 水, 木, 金). It lists the names of the attending physicians and provides additional details such as appointment times and specific services offered.

● 患者様のご紹介について 地域医療連携室(内線 186)

○地域医療連携室へ当院所定の「診療情報提供書」をFAXでご送付ください。予約日と時間を「受診予約票」にて、FAXで返信いたします。予約なしで御来院いただくよりも待ち時間が少なくなります。

(FAX) 0798-67-4896

受付時間 平日 8:30～19:00 土曜 9:00～12:00

但し、CT・MRI等の検査予約の受付は 8:30～17:00 となります。

○当院の医師に直接お電話くださるか、従来どおりの紹介状によっても診察いたします。その場合、午前 11 時までに 1 階正面玄関受付へ来ていただくよう患者様にご案内をお願いいたします。

○紹介状をお持ちの患者様も、事前に予約を入れていただきますと、待ち時間短縮につながりますので、ご協力をお願いいたします。

○当院の診療結果を FAX 等でご報告いたします。

● 救急体制のご案内 ～平日の夜間及び土曜日ともご紹介を承っております～

Table showing emergency services by department (小児科, 外科, 内科) and day of the week (月曜日, 火曜日, etc.).

※ ■ (網掛け部) は、診療所のバックアップを目的として、当院が輪番枠とは別に独自に行っている2次救急です。

※ □ (網掛け部以外) は、輪番で行っている1次・2次救急です。 ※金曜日の内科・外科2次救急に関しては、月によって輪番を担当する週が変わる場合があります。

● 糖尿病教室のご案内

医師をはじめ医療関係者が説明を行います。予約や受講料は不要です。

<実施日時> ・奇数月：水曜日 (月4回) ・偶数月：木曜日 (月4回) 午後3時～午後4時30分頃

<実施場所> 3階 講義室

術期に集中管理が可能な部屋を確保することは、手術成績は勿論のこと、患者さまの生命予後を担保することにもつながるかと思われます。HCUの開設により、更に一層、高度な手術を実践できる環境が整うこととなりますが、私たち内科医も体制を整え、先述のような循環器急性疾患をはじめ、呼吸器疾患に関しましても積極的に患者さまを受け入れて参ります。

日常臨床で先生方がお困りの患者さま、もしくは急性期医療が必要と感じられた患者さまがおられましたら、ぜひ御紹介いただきませうようお願い致します。



## 当院における胃癌治療



外科主任部長 岡 義雄

当院においては低侵襲手術を基本にしております。ガイドラインに準じていますが、適応症例に対しては内視鏡的粘膜切除術 (EMR)/ 粘膜下層剥離術 (ESD) を積極的に行っております。高齢者や併存疾患などでリスクのある方に対しては適応拡大病変でも十分な説明をして ESD を行うことがあります。最近、ESD の適応だが潰瘍瘢痕があって、あるいは部位的に ESD が困難な症例に対して腹腔鏡内視鏡合同手術 (LECS:Laparoscopic Endoscopic Cooperative Surgery) を始めました。手術も、早期胃癌に対しては腹腔鏡下の手術を行っています。進行胃癌、特に Stagell 以上に対してはガイドライン上も推奨されておらず、開腹手術で行っています。開腹と言っても切開長 10 cm前後の小開腹で行っています。高度進行癌に対しては開腹手術で十分なリンパ節郭清や他臓器合併切除を行っています。高度リンパ節転移や巨大な進行胃癌に対しては術前化学療法を行うことがあります。

一方、切除不能進行・再発胃癌に対してはHER2タンパクの有無を調べて化学療法のレジメンを決めています。HER2陽性であればまずはプラチナ製剤とフッ化ピリミジン系抗癌剤と分子標的薬のハーセプチンの多剤併用化学療法を行います。陰性であればプラチナ製剤とフッ化ピリミジンのみの併用療法を行います。化学療法を行い、もし切除可能となれば積極的に手術を行っております。

化学療法はできるだけ多施設共同臨床試験に参加して行うようにしています。そのレジメンが有効かどうか、安全かどうかを検証するためです。エビデンスのある治療を確立するために臨床試験は必要です。本年3月に日本胃癌学会が別府で開催され、大阪消化管がん化学療法研究会 (OGSG) での臨床試験のデータを発表し、優秀ポスター賞をいただきました (図)。今後もできるだけ臨床試験に参加し、胃癌治療の成績向上に貢献していきたいと思っております。

西宮の地域においてさらにお役にたてるよう一層研鑽を積んでいく所存であります。何卒よろしくお願いたします。

